

## 相次ぐ値上げ 家計を直撃

10月に入り、原材料費の高騰などを理由とした生活必需品の値上げが相次いでいます。すでに2017年度に入ってから、電気やガス料金、たばこ、オリーブオイル、燃油サーチャージ、印刷・情報用紙、タイヤ、生命保険料、国民年金保険料などが値上げされており、2017春闘の賃上げ分をも相殺する「懐事情」となっています。



### 【ヤマト運賃】

10月1日から、宅配便の基本運賃を140～180円値上げ。荷物の大きさに応じて140～180円を上乗せし、平均では約15%の値上げとなる。

### 【たばこ】

「Marlboro（マールボロ）」など、たばこ製品32銘柄が一箱当たり10円値上げ。

### 【かつお節】

かつお節や削り節などを10月2日の出荷分から10～25%程度の値上げ。

### 【食用油など】

日清は、10月から家庭用オリーブオイルを10%以上値上げし、そのほか「日清キャノーラ油」「日清サラダ油」など家庭用食用油の価格も引き上げる。

## 実感できない「景気回復」



9月25日、茂木経済再生担当大臣は内閣府の月例経済報告を受け「今の景気回復は、長さでは戦後2番目の『いざなぎ景気（1965年～1970年）』を超えた可能性が高い」と述べました。

しかし、言われている「景気回復」を実感している人は、どれほどいるでしょうか。相次ぐ値上げによる生計費負担増のなかで、賃金やボーナスが上がらなければ、実感として感じることはできません！今こそ、働く者の力を合わせて年末手当の要求満額を勝ちとりましょう！

**みんなの力で要求満額を勝ちとろう！**